

公益社団法人 日本青年会議所 北陸信越地区 富山ブロック協議会

組織改革推進委員会

委員長 松本 亮太

<p>設 置 背 景</p>	<p>J Cにおいて会員の減少は全国的に問題となっており、富山ブロック協議会内での会員推移も減少傾向が続いております。このまま会員の減少が続けば、組織としての活動に支障が生じてしまうため、組織力の低下が懸念されます。地域課題と向き合い、解決可能な人財を輩出する組織であり続けるためには、ブロック協議会が主体となり、多様な人財を獲得できるような時代に即した組織へと変化させていき、広い視野をもつ人財を育成していくことで、会員拡大の支援・推進へとつなげていく必要があります。</p>
<p>設 置 目 的</p>	<p>これからも地域課題に向き合いより良い事業を展開し続けるために、外部との連携を図り、組織改革を行う機会を提供し、J C運動への活動に誰もが参画したくなる組織へと魅力を導き出します。そして、地域課題と向き合い解決する事のできる人財を育成し、各L O Mの会員拡大の支援・推進へとつなげます。</p>
<p>運動計画 (K P I も記載)</p>	<p>1. 会員拡大の支援をします。《プロ連》 K P I : ブロック全体で2 0 %の会員拡大と1 回以上の県民との接点の構築</p> <p>2. ブロックアカデミーを開催します。 K P I : 参加対象者のうち2 0 %のメンバーが事業に参加している状態</p> <p>3. 柔軟かつ開放的な組織改革を行うための事業を行います。《プロ連》 K P I : 各L O Mにおいて1 つ以上の組織改革に向けた具体的な取り組みを実施している状態</p> <p>4. 県内友好4 団体の連携を図るために、協働事業に参画します。</p> <p>5. 9 L O M合同の卒業式を開催します。 K P I : 参加者の9 0 %以上が青年会議所に入会してよかったと感じた状態</p>
<p>運 動 手 法</p>	<p>1. 地域社会の問題解決が可能な人財を獲得し世の中に輩出する組織であり続けるためにL O Mの成功事例や進捗状況の共有を行うだけでなく、ブロック協議会が主体となってJ C活動の参画に潜在的な興味のある人財との接点をつくり、組織の魅力を導き出し参画したくなるような仕組みを構築し、ブロック内の連携体制の構築と安定的な会員拡大を支援・推進します。</p> <p>2. 地域をよくする事業を展開していくために、入会歴が3 年以下のメンバーに富山ブロックアカデミーを開催することで、会員間の結束が強固となり、富山ブロック協議会のスケールメリットを体感し広い視野をもった地域に必要な組織となります。</p> <p>3. 時代に即した組織へと変容させ、今後も地域から必要とされる組織であり続けるために、各L O Mに対して柔軟かつ開放的な組織改革を行うための事業を実施することで、多様性と包摂性のある組織を実現します。</p> <p>4. 県内友好4 団体の連携を図るために、協働事業に参画します。</p> <p>5. 2 0 2 1 年度卒業生のこれまでの運動・活動に敬意を払い、熱い想いを受け継ぐために、9 L O M合同の卒業式を開催します。</p>
<p>パ ー ト ナ ー</p>	<p>JCI日本組織拡大会議、日本J Cシニアクラブ拡大支援委員会、J C I 日本組織戦略会議 富山県商工会联合会、富山商工会議所青年部、富山県中小企業青年中央会</p>